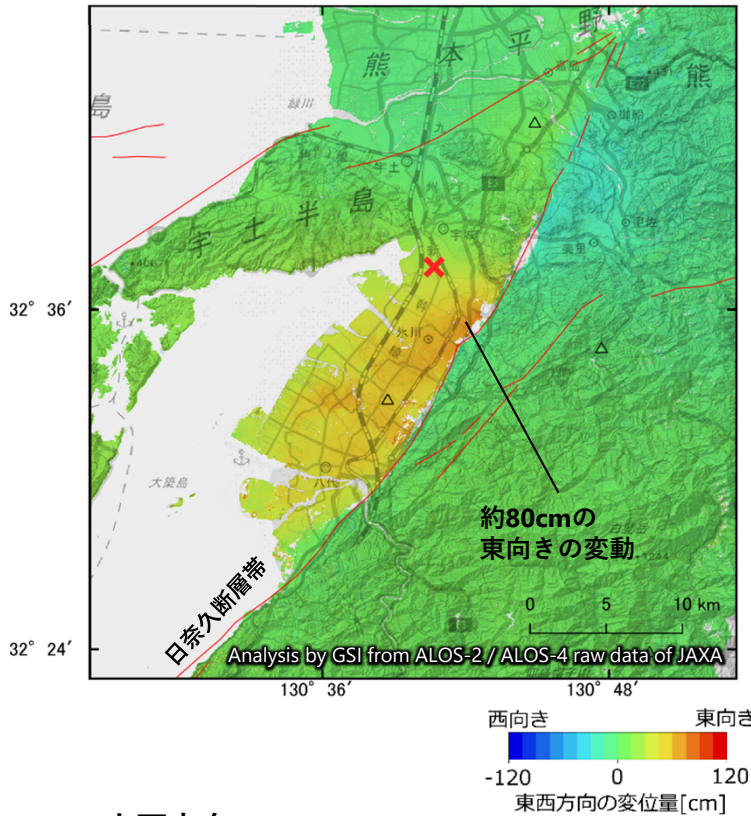


「だいち2号」及び「だいち4号」観測データの3次元解析による 令和8年熊本地震（2026年7月28日）に伴う地殻変動

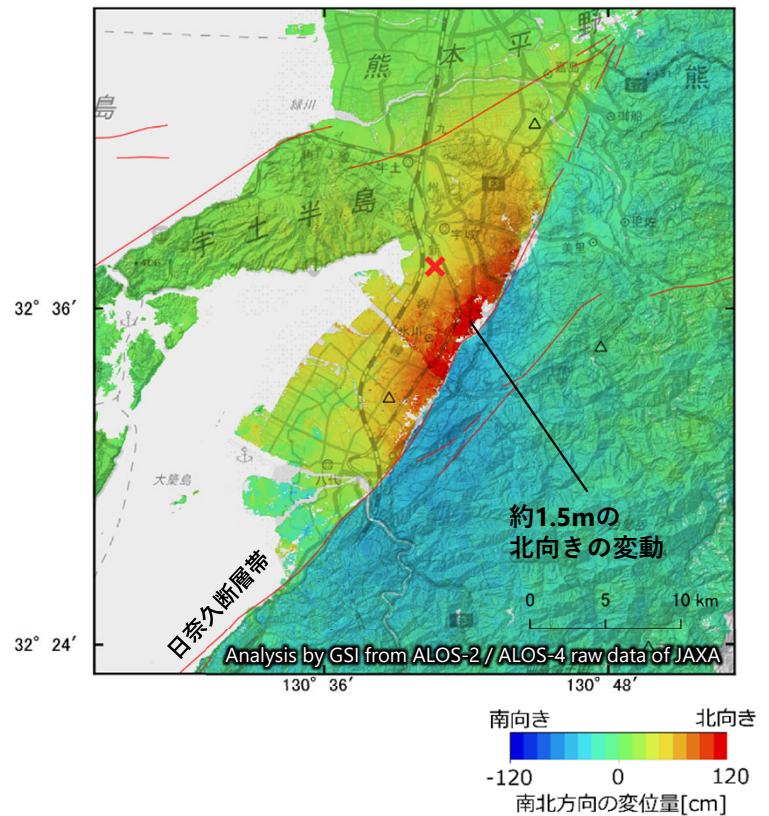
日奈久断層帯の北西側で最大約80cmの東向きの変動、最大約1.5mの北向きの変動、最大約60cmの沈降が見られます。

※断層近傍等に見られる空白は、複雑な変動等の影響のため変動量が計測できなかった箇所です。

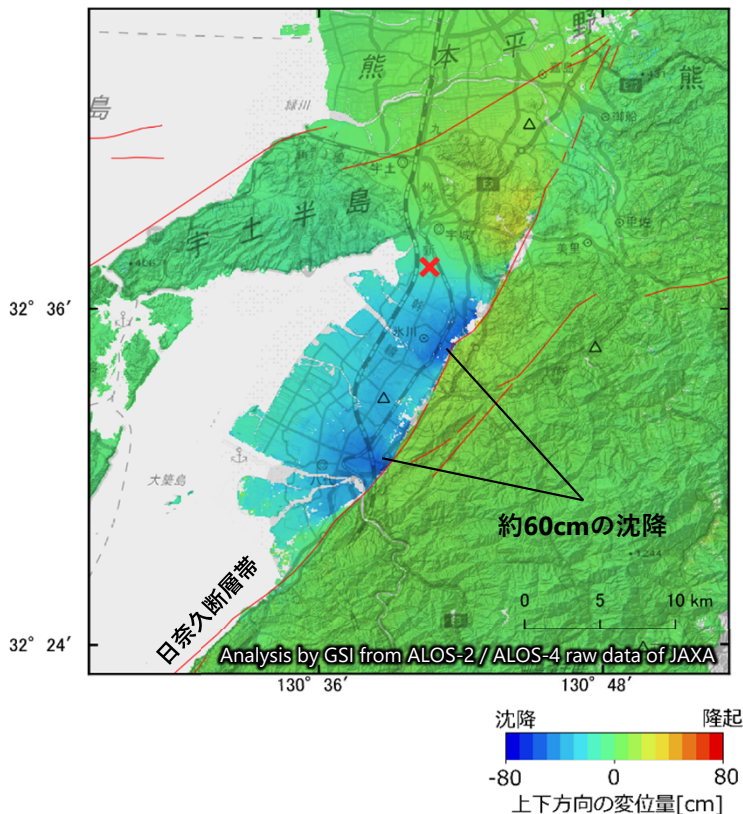
東西方向



南北方向



上下方向



参照点 電子基準点「玉名」付近

△ 国土地理院GNSS観測点

✕ 震央 2026-07-28 16:27

深さ16km M7.1（気象庁発表）

— 主要活断層帯（地震調査研究推進本部による）

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

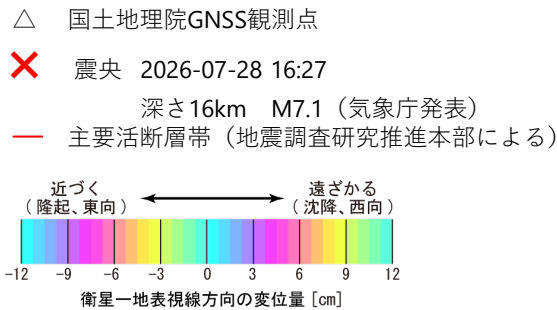
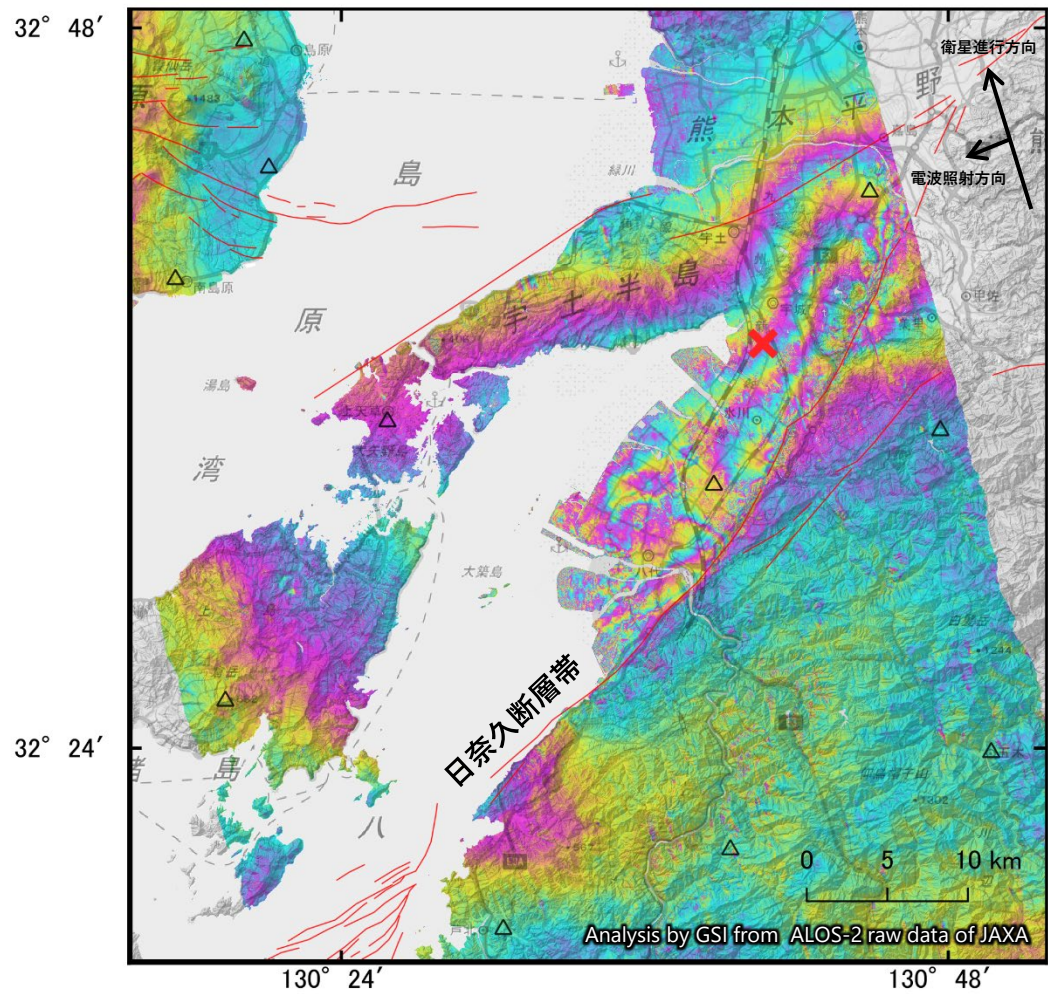
本解析で使用したデータは、JAXAとの協定及び地震活動SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。
対流圏遅延補正には、気象庁数値予報格子点データを使用しています。

「だいち2号」観測データのSAR干渉解析による 令和8年熊本地震（2026年7月28日）に伴う地殻変動

日奈久断層帯の北西側では最大約50cmの衛星に近づく変動、南東側では最大約20cmの衛星から遠ざかる変動が見られます。
※断層近傍は複雑な変動をしているため、正確な計測はできません。

東側上空からの観測のため、衛星に近づく変動は東向きの変動又は隆起を示しています。

2025年8月12日～2026年7月28日



1回目観測日	2025-08-12 (だいち2号)
2回目観測日	2026-07-28 (だいち2号)
観測時刻	23:30頃
取得間隔	350日間
衛星進行方向	北行
電波照射方向	左(西)
観測モード*	U-U
入射角	48.3°
偏波	HH
垂直基線長	+ 139 m

* U：高分解能(3m)モード

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

本解析で使用したデータは、JAXAとの協定及び地震活動SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。
対流圏遅延補正には、気象庁数値予報格子点データを使用しています。

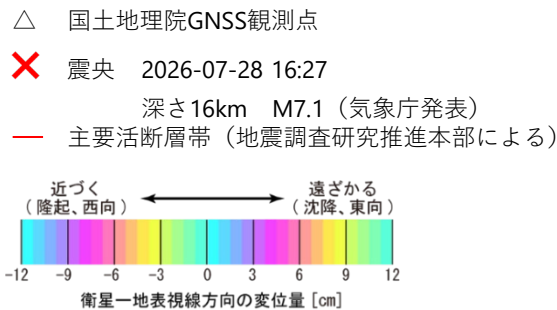
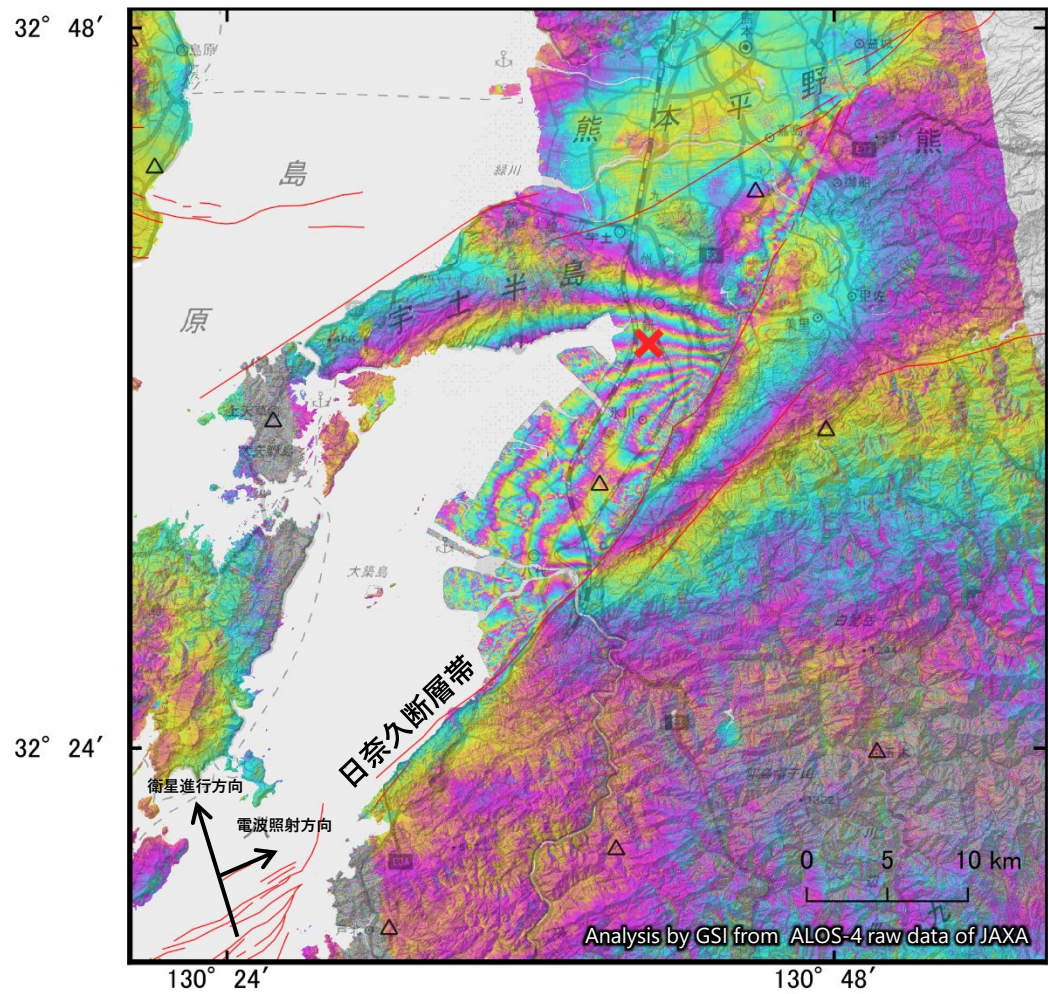
「だいち 4 号」観測データのSAR干渉解析による
令和 8 年熊本地震（2026年7月28日）に伴う地殻変動

日奈久断層帯の北西側では最大約1mの衛星から遠ざかる変動、南東側では最大約20cmの衛星に近づく変動が見られます。

※断層近傍は複雑な変動をしているため、正確な計測はできません。

西側上空からの観測のため、衛星から遠ざかる変動は東向きの変動又は沈降を示しています。

2026年7月2日～2026年7月30日



1回目観測日	2026-07-02 (だいち 4 号)
2回目観測日	2026-07-30 (だいち 4 号)
観測時刻	00:18頃
取得間隔	28日間
衛星進行方向	北行
電波照射方向	右(東)
観測モード*	U-U
入射角	41.1°
偏波	HH
垂直基線長	- 35 m

* U：高分解能(3m)モード

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

本解析で使用したデータは、JAXAとの協定及び地震活動SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。
対流圏遅延補正には、気象庁数値予報格子点データを使用しています。